

一般質問通告事項

(令和7年第7回白岡市議会定例会)

第1通告者

14番 遠藤 誠 議員

1 居場所づくり

- (1) 白岡市第3期地域福祉計画の焦点を居場所づくりに絞り、集中して成果を上げるべきではないか。
- (2) 現にある居場所づくり事業を励ましてはどうか。
- (3) 居場所はサロンであり、そこから生れるものは福祉的効果だけではなく、文化やスポーツの分野についてもあるのではないか。

2 ノットコンビニエント

- (1) もう一度、家族のコミュニケーションを図るような施策が必要なのではないか。
- (2) 夫婦についてだけでなく、かつての「あなたに贈る感謝の手紙」のようなプログラムがあってもいいのではないか。

第2通告者

4番 細井 藤夫 議員

1 国民健康保険における「74歳の壁」への対応は

- (1) 「マイナ保険証」の取得は、任意か。
- (2) マイナンバーカードの取得が「任意」であることとあわせ考えれば、「任意のカードを強制することになる」という批判がある。この違和感についてどう考えているか。
- (3) 白岡市内における「マイナ保険証」の利用率は。
- (4) 医療機関における窓口トラブルはどの程度発生しているか。スムーズに受診できるよう配慮できないか。
- (5) 75歳以上の後期高齢者医療保険被保険者の資格確認書は、全員送付していると聞く。74歳以下では送付されない「74歳の壁」について、お困りの方への対応が必要と考えるがいかがか。

2 市公式マスコットキャラクターの積極的活用を

- (1) マスコットキャラクターの派遣実績及び今後の取組について伺う。

- (2) 全国的な知名度を誇るマスコットキャラクターと、本市のマスコットキャラクターとの知名度の違いは、イベント等への参加だけで埋まるものか。
- (3) 白岡市マスコットキャラクターデザイン使用要綱（平成29年3月31日告示第135号）によるマスコットキャラクターの利用実績について伺う。
- (4) 使用要綱では、マスコットキャラクターのデザイン使用料は無料である。マスコットキャラクター商品を充実させることで、マスコットキャラクターの知名度向上を図る方法があると考えるがいかがか。
- (5) 市内事業者に対し、マスコットキャラクター商品等の開発支援等は行えないか。
- (6) 「マスコットキャラクター商品の告知」「観光地等での集積販売の支援」など、官民協働でマスコットキャラクターの使用を推進すべきと考えるがいかがか。

第3通告者

2番 尾嶋一雄 議員

1 休日における学校校庭利用団体のAED利用について

- (1) 現行の校庭利用団体の利用手順は。
- (2) AED屋外設置の必要性について市の見解を伺う。
- (3) 利用団体のAED利用について、次の対応を行うことはできないか。
ア 学校開放利用団体倉庫内又は学校体育館に新たにAEDを設置すること
イ 学童保育所設置のAEDも利用可能とすること

- (4) 学校施設の屋外にAEDを増設することはできないか。

2 地域クラブ活動の運営状況と今後の展開について

- (1) 現在の学校部活動と地域クラブ活動の参加状況は。
- (2) 近々の活動時間と活動回数の月平均はどのくらいか。

- (3) 合同練習や拠点校の運用について、今後の計画は。
- (4) 合同チームの日本中学校体育連盟主催大会の参加は可能か。
- (5) 保護者受益者負担と委託先への委託料の支払い、また、その精算方法について伺う。
- (6) 今後の展開について、市の見解を伺う。
 - ア スポーツ少年団、スポーツ協会の協力体制の必要性
 - イ 平日の部活動の地域移行
 - ウ 現行の地域展開の課題とその改善について

第4通告者

7番 野々口 真由美 議員

1 子ども達をいじめから守るために

いじめは、子どもの心身に深刻な影響を与える重大な問題である。当市においても令和4年、初となるいじめ重大事態が発生した。そこで、それを教訓にどのようないじめ防止対策を講じるのか、現状と今後の対策について伺う。

- (1) 令和6年度の学年ごとのいじめ認知件数といじめの内容と傾向は。また、発覚したいじめの対応について。
- (2) SNSやネットでのいじめや誹謗中傷が問題となっている。その傾向をどのように捉えているか。また、その対応策は。
- (3) いじめ重大事態の調査報告書では「それぞれがどう行動すべきであったかを今一度検討し、いじめ再発防止に努めていただきたい。」という言葉で締め括られている。検討した結果は。
- (4) いじめ防止対策推進委員会について
 - ア 委員会の意義はなにか。
 - イ いじめ重大事態発生後、委員会の開催回数や内容は変わったのか。また、委員会においてどのような防止対策が協議されたのか。
- (5) 今後、いじめ重大事態が発生した場合の第三者機関の設置はどのようにするのか。
- (6) いじめの早期発見、解決に向けて、白岡市教育委員会の本気度を

見せてほしい。寝屋川モデルの導入や香芝市のように独自のいじめ防止基本方針の策定など新たな取組を強く求めるがいかがか。

2 実証実験の成果と今後の展開について

実証実験は、地域の課題に対する新たな解決策を見いだすための実験的な取組であり、住民のニーズに応じた実験が行われるものと認識している。そこで、当市における実証実験について伺う。

- (1) 実施にあたり、条件などはあるのか。また、対象事業は、どのような基準や考え方で選定されているのか。
- (2) 今まで実施してきた実証実験は。
- (3) 学校体育館のスマートロックについて
 - ア どのような課題があり、実証実験を行ったのか。
 - イ 検証結果は。
- (4) 新白岡駅自由通路でのパンやお菓子の販売実証実験について
 - ア どのような課題があり、実証実験を行ったのか。
 - イ 検証結果は。
- (5) 今後の実証実験の在り方について

第5通告者

6番 和賀正義議員

1 「通過するまち」から「泊まるまち」への転換に向けた宿泊施設の誘致と観光滞在型まちづくりについて

白岡市は首都圏からの交通利便性に優れ、自然資源や農産物、地域イベントなど多くの魅力を有しているが、市内の宿泊施設が少なく、「通過するまち」となっている現状がある。今後、地域経済の活性化や観光振興を図るために、宿泊機能を備えた滞在型観光の推進が不可欠であると考える。

(1) 宿泊施設の現状と課題について

ア 市内の宿泊施設数及び近年の観光・交流人口の動向をどのように把握しているか。

イ 宿泊施設の不足が地域経済や観光振興に与える影響について、市としてどのように認識しているか。

(2) 宿泊施設の誘致・整備に向けた方針について

ア ホテルや簡易宿泊施設などの誘致・立地促進を進める考えはあるか。

イ 宿泊事業者の参入を促すための支援策（補助制度、規制緩和、情報提供など）について検討しているか。

(3) 地域資源と連動した滞在型観光の推進について

ア 東武動物公園、柴山沼、駅周辺再開発などと連携した宿泊・観光拠点の形成をどのように考えているか。

イ イベントや地域資源を生かした「泊まるまち」への転換を、今後どのように進めていくか。

2 公園や広場の在り方について

人口減少・高齢化が確実に進む中で、今後は公園や広場の維持管理費も増大し、市の財政において無視できない時代に入っている。

(1) 市の公園整備計画や公園施策の現状について伺う。

(2) 人口減少社会に対応するため、公園の維持管理の手法をどのように見直していくのか。

(3) 市民主体で長年管理を行っている広場について、市は今後どのような役割付け・位置付けを考えているのか、見解を伺う。

(4) 既存公園の防災機能付加や、新たな防災広場の確保など、人口減少時代を見据えた公園施策の方向性について、市の見解を伺う。

第6通告者

8番 石 渡 征 浩 議員

1 白岡中学校周辺から篠津北東部にかけての地域一帯の開発構想とは

(1) 開発する際のア・イ・ウ・エ地区の優先順位は。

ア 白岡中学校南側の地区

イ 白岡中央総合病院とJR宇都宮線の間の区画

ウ 白岡中学校北側の地区

エ 篠津道上交差点の北側の地区

(2) 開発する際、①耕作放棄地の解消、②埼玉版スーパー・シティープロジェクトの3つの要素、③地域開発構想の実現、①～③の中で、

何を主な目的と考えているか。

- (3) 戰略的な視点に立った企業誘致や取組ができないか。

道の駅、ビジネスホテル、ふるさと納税返礼品対応の加工品工場の誘致、商業施設の一部テナントへ商店街店舗を誘導

2 火災の再発防止策、その進捗状況は

- (1) 火災について、執行部として、猛省を含めどう総括したのか。

- (2) 再発防止策の進捗状況について

ア 意識改革をどのように進めているか。

イ チェックリストを用いた日々の点検は、現在どのように行っているか。

- (3) 火災の原因と再発防止策について、市民説明会を開催して市民に納得してもらう必要があると考えるが、いかがか。

- (4) 庁舎管理責任者等の役割と日常的にやるべきことは、整理できたか。

- (5) プレハブ（仮設本庁舎）に引っ越す前に、職員へ何を注意喚起するのか。また、いつ徹底するのか。

第7通告者

9番 斎藤信治 議員

1 未来ビジョンを問う

大山小の統廃合、白岡宮代線、白岡駅西口線などが動き終着点が見えてきた。これらは、今までの首長が先送りにしてきたものである。藤井市長が思い描くビジョンを実現するのはこれからである。どんなビジョンを描いているのか伺う。

- (1) 【庁舎復旧】火災により被災した市庁舎をどのようにデザインするのか伺う。

- (2) 【人口減少社会に向かって】日本は人口減少社会にある。当市も人口が減少することを受け入れ、それに見合った施策をすべきだ。基本的な考え方を伺う。

- (3) 【生活空間の設計】街は拡大から縮小に向かっている。コンパクトシティを目指すべきではないか。

- (4) 【地球温暖化対策】ゼロカーボンシティ宣言が出た後で、止まっているように見える。今後の進め方を伺う。
- (5) 【農業対策】従来の農業政策では、農業経営者の減少・耕作放棄地の増大がある。斬新な対策が必要ではないか。考えていることはあるか。

2 インクルーシブ教育の推進を

文教厚生常任委員会で大阪府豊中市立西丘小学校を視察した。障がい者と健常者が普通学級で『ともに学び、ともに育つ』を実践している姿を見てきた。インクルーシブ教育といわれる教育制度だ。当市で実施できなか。

- (1) インクルーシブ教育の根底には、「障がい者も健常者と同じ教育を受ける権利がある」という人権意識がある。人権教育は、「人権、それは愛」「障がい者は、助けてあげる」に象徴される道徳教育となっている。人権はすべての人が平等に保有している。人権教育を捉え直す必要はないか。
- (2) 障がい者と健常者を分けることは、健常者に対して無意識のうちに差別意識を醸成してしまう。分けない教育は、障がい者のためだけではなく、健常者が健全な人権意識を育める。分けることの弊害をどう考えるか。
- (3) 豊中市では、インクルーシブ教育を50年も続けている。教師も保護者も一緒にいることが当然で、特別なことではない。こども時代と一緒に過ごした仲間は、大人になっても仲間だ。障がい者と健常者が地域で、ずっと仲間として暮らし続ける。その基本は、普通教室で健常者と障がい者が席を並べること。始めてみたらどうか。
- (4) 職員室の真ん中が支援学級の担任席なので障がい者のことを普通学級の担任も共有できる。参考にしてみないか。
- (5) 医療的ケア児も普通学級にいる。病院との連携が必要だ。実現できなか。

第8通告者

1番 寺 戸 瞳 子 議員

白岡市立学校の適正規模・適正配置について

市立小中学校の現状と今後について伺う。

(1) 市民への周知について

白岡市立学校の適正規模・適正配置について、市民の多くは、善
義地区だけの話だと誤解されている。現時点で、市民への周知は、
どのように行われているのか伺う。

(2) 老朽化と情報提供の必要性について

築60年を経過した校舎を含む篠津小など、市立小中学校の校舎
は、かなり老朽化が進んでいる。そのことを広く知っていただき、
現時点での老朽化を含む問題点や、新しい公共施設のあり方など、
今後市民に対し、情報提供する機会を作ったほうが良いと考えるが
いかがか。

(3) 成功している先進的な義務教育学校について

つくば市立みどりの学園義務教育学校のように、義務教育学校の
中でも先進的な取組（ＩＣＴ教育、ＳＴＥＡＭ教育、柔軟な学習空
間、教職員の連携が工夫されている）を行い、成功している市立学
校がある。白岡市も、将来、自分の子どもや孫を、ぜひ通わせたい
と思える魅力ある学校づくりを考えるべきだと思うが、いかがか。

第9通告者

10番 加 藤 一 生 議員

1 今年度の道路事業について

庁舎火災被害に関連して、多額の臨時費用が発生しているが、それ
に伴い、今年度の道路事業に何か支障・影響が発生しているか、現在
の状況を伺う。

2 市内の犯罪発生状況とそれに対する市の対応姿勢について

(1) 市内における侵入窃盗犯罪及び詐欺電話等の特殊犯罪の発生状況
は。

(2) これらの犯罪に対し、市はどのような姿勢で臨んでいるのか。

第10通告者

13番 菱沼あゆ美 議員

1 こどもを守るための学校への防犯カメラ設置について

- (1) 学校における性暴力防止と性被害からこどもを守るための取組の現状を伺う。
- (2) 9月に埼玉県が県立学校における盗撮防止等ガイドラインを策定し、各市町村における盗撮防止等のガイドラインを策定するように教育委員会に通知した。策定状況と、どう活用するのか伺う。
- (3) こども性暴力防止法の施行を待つことなく、抑止力として校内の防犯カメラ設置を行うべきではないか。

2 こども・若者の居場所づくりについて

- (1) こども・若者の居場所の1つに児童館がある。特に小学生から高校生までの利用状況を伺う。
- (2) 昨年、こどもの居場所としての更なる機能強化が期待され、児童館ガイドラインが改正された。中高生のための開館時間や環境づくり、文化・芸術活動に必要なスペースづくりとの記載があるが、現状はどうか。
- (3) 市として、こども・若者の居場所づくりを、今後どのように推進していくのか。
- (4) 中高生や若者に寄り添った場所が必要と考える。旧新白岡駅東口自転車駐車場を居場所として活用してはいかがか。

3 のりあい交通の利用者の拡充について

- (1) のりあい交通の利用者要件はどのようにになっているか。
- (2) 市外の家族も利用できるようにしてほしいとの声がある。拡充すべきではないか。

第11通告者

17番 江原浩之 議員

1 白岡駅西口周辺の整備について

- (1) 都市計画道路白岡駅西口線の進捗状況と今後の整備スケジュールは。
- (2) 白岡駅西口駅前広場周辺の既存水路の改善を。

2 白岡駅西口周辺の用途地域について

- (1) 白岡駅西口線の開通に伴う用途地域の変更を考えているのか。
- (2) 用途地域変更する場合は、どのようなプロセスで変更を行うのか。

第12通告者

5番 浜 口 清 志 議員

1 高齢者補聴器購入助成事業の充実について

- (1) 事業予算額及び申請者数は。
- (2) この助成事業を実施している県内自治体の件数及び助成金額は。
また、県内自治体の平均助成金額は。
- (3) 当市の助成金額を引き上げられないか、市の考えを伺う。
- (4) 国に対する要請活動を行っていただけないか。

2 多文化共生社会の実現と増加する外国人の受入れ体制の整備について

- (1) 7年7月全国知事会での「青森宣言」のうち、「排他主義、排外主義を否定し、多文化共生社会を目指す」とある。当市としてこの「青森宣言」をどのように受け止めているか。
- (2) 急速に拡大する外国人問題について伺う
ア 外国人の犯罪が多いというが、久喜警察署管内における犯罪件数は。
イ 外国人の医療費負担をどのように捉えているか。また、当市の国民健康保険加入外国人の世帯数、加入割合及びその収納率は。
ウ 生活保護の問題について
当市の生活保護世帯数及び外国人の世帯数との割合は。
- (3) 当市における外国人との共生社会をつくるための施策をどのように行っているか。また、これから行おうとしているのか。

第13通告者

3番 嶋 田 友一郎 議員

1 消防団を中心とした地域防災力の充実強化

- (1) 市消防組織の現状について伺う。
ア 消防分団及び女性消防団員の活動実績について

イ 消防団員の充足状況及び課題について

(2) 市内事業者と連携した消防団員の確保の推進について講じている施策を問う。

(3) 市職員による消防力強化の取組について問う。

ア 市職員の消防団加入状況について

イ 消防団加入の促進について

ウ 市職員による消防団の組織化を検討してはどうか。

(4) 防火対策に特化した地域ネットワーク構築に関する埼玉東部消防組合との連携強化について伺う。

2 鳥獣被害への対応について

(1) 改正鳥獣保護管理法の施行に伴う本市における緊急銃猟制度への対応について伺う。

(2) 本市における鳥獣被害の発生状況について伺う。

(3) 農作物への鳥獣被害防止の取組について問う。防護柵や箱わな設置等の支援に取り組んではどうか。

3 学校給食について

(1) 学校給食の目的意義について、本市はどのように捉えているか見解を問う。また、児童・生徒の心身の健全な発達の支援においてどのような取組を実施しているのか伺う。

(2) 学校給食無償化についての検討を進めてはどうか。また、学校給食費への支援について就学援助制度の多子世帯への拡張、または新たな制度を導入してはどうか伺う。

(3) 令和7年度3学期の学校給食の提供予定について伺う。

(4) 学校給食の提供に関する予算措置及び提供回数の確保について問う。

第14通告者

12番 中山廣子 議員

1 福祉現場の人手不足対策と「スケッター」導入について

(1) 市内施設における人手不足の現状を伺う。

(2) 市が行っている支援策・取組について伺う。

(3) 新しい人材マッチングの仕組みに対する市の見解を伺う。

2 自転車の安全利用について

(1) 本市の「交通安全教室」の実施状況を伺う。

(2) 令和5年10月に「市民向け自転車安全運転講習会」を開催した。

ア 講習会の内容・周知方法・参加者数を伺う。

イ 実施にあたって見えてきた課題はどのような点だったか、また得られた成果や参加者からの評価はどうだったか伺う。

(3) 令和8年4月に道路法が改正され、自転車の交通違反に対する罰則が強化される。この法改正の内容や自転車の安全利用に関する情報について、市としてどのように周知・啓発を行っていく考えか。

(4) 今後、体験型で学べる「市民向け自転車安全運転講習会」の実施について、市の見解を伺う。あわせて、市民から寄せられている交通ルールを分かりやすくまとめた冊子やチラシを求める声に対し、市としてどのように対応するのか伺う。

3 誰もが参加できる防災訓練の実現に向けた取組について

(1) 市内で実施されている防災訓練の参加人数の推移について伺う。

(2) 市が実施している総合防災訓練における課題は何か伺う。

(3) 子どもから高齢者まで幅広い世代が一緒に防災を学び体験できる「防災運動会」の要素を取り入れることについて、市の見解を伺う。

第15通告者

11番 松本栄一 議員

1 ささえあいカーの実証実験について

本年8月に宮山団地、海老島団地、あけぼの・大蔵団地、東伸団地からベルク白岡上野田店まで、対象地域に住む75歳以上の方などを対象に料金無料の買い物・送迎用「ささえあいカー」の実証実験が開始され、毎回4、5人が利用している団地もある。

(1) ささえあいカーの利用状況について、8月から10までの利用者数を各団地別に伺う。

(2) ささえあいカーの運行予定表では、来年1月28日が最終日だが、2月以降の運行をどうするのか。また運行の費用は当市と県の負担

と聞くが、県の補助は今回のみか。

- (3) 岡泉地区の集会所は、ささえあいカー利用の集合場所として可能である。岡泉在住の方からの要望があるが、今回、対象外とした理由と今後の運行に岡泉地区を加えることが、可能か伺う。

2 都市計画道路白岡宮代線延伸と整備について

都市計画道路白岡宮代線は、今年度中に完成する予定で、赤砂利橋の手前まで工事が進んでいる。隼人堀川の河川改修事業としては、菁莪学校橋の架替工事も完了し、その後は上流の大日橋、赤砂利橋の順で橋梁架替工事を進める予定と聞く。

- (1) 白岡宮代線の延伸計画については、令和3年6月一般質問で、今後宮代町と連携するとの答弁であったが、進展しているか。
- (2) 白岡宮代線の延伸計画について、宮代町と意見交換する場合、白岡宮代線の都市計画道路の新たな認定を検討しているか。
- (3) 隼人堀川の橋梁架け替えは、令和3年6月一般質問では大日橋、赤砂利橋の順との答弁だったが、赤砂利橋を先にすることは可能か。
- (4) B & G海洋センター前の交差点が北側に移動し、総合運動公園入口が分かりにくく、危険な状態である。路面標示や注意看板はあるが、事故の発生前に防止策を検討しているか。

第16通告者

16番 黒須 大一郎 議員

1 次世代への支援を

次世代への支援について伺う。埼玉県内では、結婚に伴う新生活の経済的負担を軽減するため、国と連記して「結婚新生活支援事業」を実施している市町がある。

- (1) 結婚した方に支援をし、誇りと実益を持たせられないか。
- (2) 住宅取得支援をして空家等の減少を図れないか。

2 水道料金の改定にあたり

物価高騰の折、水道の料金改定にあたり負担軽減の減免措置を講じるべきかと考える。市長の見解は。

3 第6次白岡市総合振興計画後期基本計画策定に向けて

自治体が総合振興計画を策定する主な目的は、まちづくりの目標設定、効率的な行背運営、地域課題への対応、市民参加の促進の4つであり、基本構想、基本計画、実施計画の3つの要素で構成されている。

- (1) 前期基本計画の検証は、進捗状況及び成果を適切に評価するものだが、誰が評価したものなのか。
- (2) 社会経済の変化や新たな課題を踏まえて施策の方向性を検討する必要がある。市民意識調査を行い、結果を基に重点的に取り組む施策を決定し、低満足度だが重要度が高いものを後期基本計画の「重点取組項目」とすべきでは。
- (3) 基本構想の目指すべきまちの将来像である「みんなでつくる 自然と利便性の調和したまち しらおか」を行うために6項目政策目標が示すタイトルで、令和13年度の計画満了時の白岡はどのようなまちになるのか、目指す将来像のイメージを持てるのか。中間点の今、市民とともにどのような事業や行政運営のあり方かを考えるべきだが、いかがか。